



学校創立142周年

百年松

阿木名小中学校便り 令和3年11月19日発行

◇校訓「かしこく やさしく たくましく」
あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ りぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども
～花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子～



阿木名小中学校

山に登る



校長 井上 泉

中学校では期末テストが近づき、小学校でもそれぞれ学習のまとめのテストなどが行われています。また、部活動でも少しずつ大会が始まりました。それぞれが立てた目標に向かって、精一杯頑張ってもらいたいと思います。

さて、冒険家の三浦雄一郎さんは2017年に80歳で世界最高峰のエベレストの登頂に成功しました。成功するための準備は想像を遙かに超えたものだったと思います。私は子どもたちが目標に向かって努力することは、この「登山・山登り」と似ていると思います。

当たり前ですが山に登るためには、準備をしっかりしなければなりません。自分の登る山のルートを確認し、難しいところは十分な安全対策をとり、またその山を知る山岳ガイドと相談しながら、先を急ぎすぎず、無理をせず、休養をとりながら山頂をめざしていくと考えます。これは子どもたちが学習や部活動で目標に向かって努力する過程と酷似していると思います。

まずはめざす目標に到達するためには、十分な学習・練習が必要です。(登山の準備)次に、計画の確認をし(登山ルートの確認)、難しいところは何度も計画を立て直し最善策を作り上げます。(計画の見直し・安全対策)また、分からないことは先生や家族と相談することです。

(登山者が困った時など、山岳ガイドに尋ねるのと同じように)そして、登山でも先を急ぐあまり、近道をしたりすると危険な目に遭うのと同じで、徹夜で勉強しても、身にはつかず、スポーツでも急に実力以上の練習をしても、けがのもとです。一步一步歩を進めるように、こつこつと学習・練習をする、この毎日の積み重ねを繰り返すことが重要です。

しかし山登りも、準備不足や天候不良、体調などの関係で達成できず、下山し計画を見直すこともあります。同じように学習や部活動の目標変更もあります。でもそれはこれから先において、必要なことだと思うのです。子どものペースに合っているのか、このままでいいのか、勇気ある見直しも必要です。登山者が、山を十分に知っている山岳ガイドの声に耳を傾けるのと同じように、子どもたちが迷うときは、周りの私たちが声をかけ、アドバイスすることが大切だと思います。

子どもたちが山頂(目標)を見据え、その山頂にむかっての準備は十分できているのか、手ぶらで無謀な登山(チャレンジ)をしようとしていないか、見届けなければなりません。準備が万全であればあるほど、いざというときの機転は利きます。近道や、無理な計画はミスのもとです。無謀な登山にならないように、私たち大人も、子どもたちの目標達成に向けて、よきガイド役として、応援したいものです。

